

公私病連ニエス

国民医療の
確保のために
病院診療報酬の
引き上げを

いる鉛筆

医療・介護DXの更なる推進も

デジタル化、グローバル化という大変革時代の渦中にあり、国民皆保険の持続可能性を確保しつつ、未来に向けて、イノベーションと社会のタイナミズムを医療・介護分野に取り込み、人生100年

このうち「医師偏在是正に向けた総合的な対策」では、少子高齢化が進展

性

▽都道府県が医師偏在は正に主体的に取り組み、国は都道府県をサポートする仕組みを検討すべきではないか。

②医師の確保・養成

▽医師少数区域等での

医師偏在是正の観点から検討すべきではないか。

③実効的な医師配置

▽新たに選定する重点的な支援対象区域における開業・承継の支援や、経済的インセンティブを含め、医師の勤務意欲につながる方策について検討すべきではないか▽新

よる偏在是正を進めるにあたっては、国や地方のほか、保険者等からの協力を得るなど、あらゆる方策を検討すべきではないか▽①～③の取組を、国、地方、医療関係者、保険者等がどのように協力して実施していくべきか。

ビジネスの本家である。会場はいずれも満員。女史柔道家が敗退後

時評

地域医療が逼迫した。
特に看護師不足や医療
機関や介護施設でのク
ラスター発生は、地域

たすことが出来なくなり、最終的には高次医療機関の大幅な機能低下を招く結果となり地

医自身が被災者であり、しかも上下水道等のインフラが消失してしまえば、能登北部の医

北部医療機関や施設
入院患者、入所者も
沢以南への搬送の必
性が生じたが、交通

努力したが、平時の白機能とは異なる依頼多く対応に苦慮する合も多かった。

の中で無観客を
た東京オリンピック
に不運であった
も今の東京で開

強いられ
ツクは誠
そもそ
催するこ

災害時地域医療BCPの必要性

連盟 監事 岡田俊英

医療、特に救急医療体制に大きな影響を与え

域の生命が危機に晒される結果となった。

機能はほぼ消失した。一方金沢以南の医療機

- ・入所者の計画的移

地域を守る医療BC
を行政や多くの医療

スポーツの祭典
役割は十分果た

としての
された。

医師偏在是正に向けた総合的な対策

①医師確保計画の深化・②医師の確保・育成・③実効的な医師配置を柱として、2024年末までに総合的な対策のパッケージを策定し、これらを組み合わせた医師偏在は正に係る取組を推進する。

＜総合的な対策パッケージの骨子案＞

対策	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
①医師確保計画の深化	◆人口や医療アクセス状況等を踏まえ、都道府県における医師偏在の是正プランの策定、国における重点的な支援対象区域の決定。	「第8次医師確保計画(後期)ガイドライン」策定	「第8次医師確保計画(後期)」策定	「第8次医師確保計画(後期)」開始
②医師の確保・育成	◆医師少数区域等での勤務経験を求める管理者要件の大幅な拡大、外来医師多数区域の都道府県知事の権限強化、保険医制度における取扱い等の規制的手法を検討。	必要に応じて 法令改正		改正法令 施行
	◆臨床研修の広域連携型プログラムの制度化。	各医療機関でプログラム作成、研修医の募集・採用	プログラム開始	
	◆中堅以降医師等の総合的な診療能力等に係るリカレント教育について、R7年度予算要求。	リカレント教育事業開始		
	◆医師多数県の臨時定員地域枠の医師少数県への振替を検討。	医師少数県の臨時定員地域枠の拡充		
③実効的な医師配置	◆地域医療介護総合確保基金等による重点的な支援区域の医療機関や処遇改善のための経済的インセンティブ、当該区域への医師派遣等を行う中核的な病院への支援、全国的なマッチング機能の支援等を検討。	地域医療介護総合確保基金等による財政措置		
	◆大学病院との連携・パートナーシップについて、都道府県・大学病院にヒアリング等を行い、対応を検討。	都道府県・大学病院と協議、パートナーシップのプランの内容整理	「第8次医師確保計画(後期)」にプランを反映	プラン開始

平時より地域での医療体制の持続を意識した病院間の話し合いが行われていたと言います。

発生で、救急患者受け入れ停止、外来診療停止、入院の停止等が各医療機関独自の判断

震においては、発災後直後、医療機関においても能登地区と金沢以南では被災規模に大きな

ない診療が可能であり、能登中部の医療関は自院が被災しながらもある程度の機能

あつた。
各医療機関は全体
が見えず不正確な情
が錯綜する中、県の

する必要があると考
られた。

（石川県立中央病院
院長）

類の大切な財産
介入から守られ
市の経済的負担
れ、質実として

政治の
開催都
が軽減さ
健全に継

えんことを目的にまとめたもの。第1部では、①「この健康を取り巻く」としている。

厚生労働省

令和7年度予算概算要求

厚生労働省は令和7年度予算概算要求を取りまとめた。一般会計の要求額は33兆8189億円となり、前年度より4574億円の増を要望している。主な重点要求は以下のとおり。

令和7年度厚生労働省予算概算要求における重点要求（抜粋）

少子高齢化・人口減少時代にあっても、①今後の人口動態や経済社会の変化を見据えた保健・医療・介護の構築や包摂社会を実現することにも、

②持続的・構造的な賃上げに向けた三位一体の労働市場改革の推進と多様な人材の活躍促進を通じて国民一人ひとりが、安心して生涯活躍できる社会の実現に向け、以下を柱に重点的な要求を行う。

I. 全世代型社会保障の実現に向けた保健・医療・介護の構築

【創薬力強化に向けたイノベーションの推進と医薬品等の安定供給確保】
ドラッグラグ・ドラッグロスの解消に向けて、有望シーズの実用化促進、研究開発環境の整備による創薬力の抜本的強化を図るとともに、医薬品等の安定的な供給を実現する。
●有望なシーズの医薬品・医療機器等への実用

包括ケアシステムの構築等に向けた施策を推進する。

●医療・介護分野におけるDXの推進等1358億円（201億円）
▼電子カルテの導入と情報の標準化等による全国医療情報プラットフォームの構築、オンライン資格確認等システム等の基盤強化及び保健医療介護情報の活用促進▼マイナ保険証の利用促進に向けた取組▼電子処方箋の更なる全国的な普及拡大▼診療報酬改定DXの取組の推進▼科学的介護推進のためのデータベースの機能拡充▼介護・障害福祉分野におけるテクノロジー開発・導入促進に向けた支援の推進▼医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策の強化

▼医療製品の供給状況把握のための体制整備▼抗菌薬の安定供給に向けた体制整備▼海外依存度の高い原薬等の供給リスク低減に向けた支援▼献血血液や血漿分画製剤の確保対策▼後発医薬品の信頼確保・安定供給のための体制・取組の強化や産業構造改革

【医療・介護におけるDX、地域医療・介護の基盤強化の推進等】
医療・介護におけるDXの推進等により、生産性の向上を図るとともに、安心して質の高い医療・介護サービスの提供を図る。また、高齢化の更なる進展や人口減少に対応するため、限りある資源を有効に活用しながら、質の高い効率的な医療・介護サービスの提供体制を確保する。そのため、地域医療構想の推進や地域

効率的な審査支払機能の運用に向けた国保総合システムの改修

●医師偏在対策・地域医療構想・かかりつけ医療機能等の推進1915億円（878億円）

▼地域医療介護総合確保基金等による医師偏在対策への支援、地域医療構想の推進▼地域医療提供体制データ分析チームの構築▼かかりつけ医療機能が発揮される制度整備等の推進▼医師の働き方改革等、医療従事者の勤務環境改善に向けた取組の促進▼ICTや特定行為研修の活用等による訪問看護及び看護師確保対策の推進▼薬局機能の見える化の推進、薬局機能及び薬剤師サービスの高度化等

●地域包括ケアシステムの推進12531億円（2474億円）
▼地域医療介護総合確保基金等による地域の事情に応じた介護サービスの提供体制の整備及び介護従事者の確保支援▼地域の多様な主体による柔軟なサービス提供を通じた介護予防の取組の推進と高齢者を地域で支えていく体制の構築支援▼保険者機能の一層の推進に向けたインセンティブの強化▼介護職員等処遇改善加算の取得支援▼高齢者の住まい支援体制の構築に向けた取組の推進▼介護施設等の防災・減災対策の推進

●救急・災害医療体制等の充実等1122億円（110億円）
▼ドクターヘリ・ドクターカーの活用による救急医療体制の強化▼災害医療における情報収集機能等の強化、災害時におけるシステム等の活用の推進

推進▼医療施設等の防災・減災対策、DMAT・DPAAT・災害支援ナース体制の整備・強化▼災害時保健医療福祉活動支援システム（D24H）による災害対応の強化等【国際保健への戦略的取組、感染症対策の体制強化】
日本の知見を活かし、国際保健分野においてリーダーシップを発揮できるよう戦略的に取り組む。次なる感染症危機への対応として、国立健康危機管理研究機構を創設し、研究及び人材育成等の体制を強化する。

●国際保健への戦略的取組の推進、医療・介護分野の国際展開等170億円（60億円）
▼「UHCナレッジハブ」の設置を含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成に向けた関係国際機関等への拠出、薬剤耐性（AMR）対策に関する研究開発等の推進▼開発途上国向けの医薬品研究開発及び保健システムの強化等の支援、諸外国への人材派遣等による日本の医療技術等の国際展開の推進▼介護分野の好循環の実現を目指した、人材確保のための海外現地への働きかけの強化

●次なる感染症危機に備えた体制強化等1330億円（87億円）
▼国立健康危機管理研究機構の創設による感染症の情報収集・分析体制の強化、基礎から臨床に至る総合的な研究開発基盤の整備▼感染症危機管理の強化に向けた人材育成等の推進▼平時からの計画的な個人防護具の備蓄等

【予防・重症化予防、女性の健康づくり、認知症施策の推進等】
生涯活躍社会の実現に向け、健康づくり・予防・重症化予防を推進する。加えて、女性健康支援の総合対策、認知症施策を総合的かつ計画的に実現を目指した、人材確保のための海外現地への働きかけの強化

●認知症施策の総合的な推進1148億円（34億円）
▼「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」等に基づく、認知症の人に関する理解の増進、認知症バリアフリーの推進、社会参加の確保等に関する認知症施策の推進▼認知症の早期発見・早期診断及び治療・進行抑制、介護方法、社会環境の整備等に対する研究等の推進等

●肝炎対策の推進53億円（53億円）
▼肝炎患者等の重症化予防の推進▼肝がん・重度肝硬変の治療研究の促進等

【安定的で持続可能な医療保険制度の運営確保】
●各医療保険制度などに関する医療費国庫負担率10兆3517億円（10兆1598億円）

対策等の推進1482億円（406億円）
▼効果的・効率的な子宮頸がん検診の実施に向けた支援を含むがん対策の推進、HPVワクチン等の普及啓発の促進▼脳卒中・心臓病等患者の包括的な支援体制の構築▼リウマチ・アレルギー疾患、慢性腎臓病（CKD）対策の推進

令和7度 厚生労働省予算概算要求の姿

(令和6年度予算額)	(令和7年度要求額)	(対令和6年度増額)
33兆8,189億円	34兆2,763億円	(+4,574億円)

一般会計

区 分	令和6年度 予 算 額 (A)	令和7年度 要 求 額 (B)	増▲減額 (C) (B)－(A)
			(B)－(A)
一 般 会 計	338,189	342,763	4,574
うち 年金・医療等に係る経費	320,698	324,375	3,677
うち 重要政策推進枠	—	1,508	—

第35回「看護管理セミナー」のお知らせ

全国公私病院連盟では、「今、看護管理職に求められているもの」をテーマに「看護管理セミナー」を開催します。ご参加ください。

- 期 日：令和6年10月25日（金）
- 会 場：「全国都市会館」3階 第2会議室
東京都千代田区平河町2-4-2
- 参加費：会員病院（1名につき）16,500円（税込）
：会 員 外（1名につき）19,800円（税込）
- 講演テーマと講師：

10:00 ～11:30 (90分)	「次世代の看護管理者育成」 講師 丸山 美津子 氏 兵庫県看護協会 会長
昼食休憩	
12:30 ～13:30 (60分)	「看護職の資質向上に向けた看護管理者の役割」 講師 岩崎 朋之 氏 大阪大学医学部附属病院 副病院長・看護部長
13:45 ～14:45 (60分)	「人口2万人の医療介護連携の取り組み」 講師 武内 晶 氏 八幡平市立病院 地域医療連携室 主任兼社会福祉士
15:00 ～16:00 (60分)	「新型コロナウイルス感染症 対応の経験が“今”どう活かしているか」 講師 土屋 恵美子 氏 横浜市立市民病院 副病院長兼看護部長

- ◆ 参加の申込方法や注意事項などの詳細は、全国公私病院連盟のホームページ <https://www.byo-ren.com/> をご覧ください。
- ◆ お問合せ e-mail アドレス seminar@byo-ren.com
お問合せ 電話番号 03-6284-7180

今月の一冊

今月は2冊

コロナ第11波で映画は止めて沢山読めた。暑いので重い感じの題は敬遠。まず1冊目は『すかたん』朝井まか

て著(講談社文庫)である。難波(なにわ)の老舗青物商(野菜問屋)の物語、江戸の饅

頭家の娘が小藩の役人に嫁ぐも大阪へ赴任後急死。手習所の女師匠

をしくじったりして長屋の家賃を払えない処

に。『すかたん』と評判の『河内屋』という青物問屋の若大将に「働

き口が無いんやったら、うちはどうい



『すかたん』朝井まかて著 講談社文庫/刊

『継ぐ者』上田秀人著 角川書店/刊

と。大阪の商家の旧習に苦勞しながら最後はハッピーエンドに。途中から終章を読もうかとの誘惑に駆られながら、そうすると多分途中は二度と読み返せないといふに読破した。

京野菜は有名だが、最近、なにわの伝統野菜も復活しようとの試みが活発に。勝間南瓜(こつまなんきん)は今東光原作で嵯峨三智子主演の映画にもなった。復活4種の中にはストーリーに出てくる田辺大根もある。生産者(百姓)を大切にという考えから直売をや

らせ、問屋仲間から締め出されたり、色々と苦境を乗り越えてのハッピーエンドである。武士は建て前で、実力はずくに商人が上という世相もよく表している。大阪の街と食べ物、祭や人情、暑氣払いに丁度良かった。

「ちやうちやう」「まったり」「だんない」「ぼちぼち」「ええねん」「しんど」「ほな」「かんにん」「おもしろい」「すかたん」と大阪弁で10に章立てされているのも面白い。江戸への対抗心が強いのも、今の維新と同じ様に「一人相撲」と切っ捨てているのも垣間見えて面白い。以前紹介の「向嶋なすな屋繁盛記」も読み返しても面白い。花木や野菜をゆつくり見直すのに孫達の夏休みの宿題の役に

も少し役立っ感じ。最近の異常気象で野菜が値上がりしているのを、この稿を書いている時に知った。

2冊目は友人で歯科医を辞めた時代小説家上田秀人氏より頂いた『継ぐ者』(角川書店)である。コロナパンデミックの真最中に頂いて読んだが、丁度NHKの大河ドラマ「どうする家康」があったので、書評は今回にした。

主人公は松平元康。後の徳川家康である。話は駿府今川との合従連衡など目まぐるしく変わる戦国時代の物語である。人質時代からの守役、石川数正や宿老、酒井忠次との交わりも描かれており、家康や息子竹千代、後に信康との会話も興味深い。帝王学を教える立場である。また信康の妻で信長の娘、五徳姫を仇と思う家康の元

全国公私病院連盟 役員会だより

9月の「理事会」は愛知県名古屋市において開催した。

【主な報告事項】
①日病協「代表者会

議(8月23日) 辻井副会長から報告があった。

②望月副会長からの報告 望月副会長から、「新たな地域医療構想等に関する検討会」(8月26日)の報告があった。

③意見会長からの報告 ④全国公私病院連盟

ホームページのリニューアル

【主な協議事項】
①第34回「国民の健康会議」(10月2日)開催案内

②第32回「医療事故防止セミナー」(11月28日)について ※理事会終了後、名鉄グランドホテル11階「柏の間」において懇親会が行われた。



理事会のもよう



懇親会のもよう

全国公私病院連盟の会員病院向け保険制度のご案内

雇用慣行賠償責任保険

「ハラスメント」「雇用問題」に対する備えは万全ですか？

雇用上の差別・各種ハラスメント・不当解雇等、雇用慣行に関連する賠償請求のケースは多岐に渡ります。また、雇用慣行賠償リスクはマネジメントレベルの管理では防ぎきれない性質が強く、有事の際の費用や、対応体制の構築も同時にご検討されることをおすすめします。

使用者賠償責任保険

労働災害補償制度とは別に、民法上の責任が発生した場合の高額補償に備えませんか？

労働災害に認定された場合であって、その災害について事業主の過失をめぐって争われるような場合は、民法上の損害賠償責任が問題となるケースが増えています。

保険期間：2024年11月1日～2025年11月1日
※いつからでも中途加入が可能です。

＜お問合せ先＞

取扱代理店

引受保険会社

株式会社 公私病連共済会

〒111-0042 東京都台東区寿 4-15-7
食品衛生センター7階
TEL 03-5830-6193 FAX 03-5830-6194
受付時間：平日の午前9時から午後5時まで

損害保険ジャパン 株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1
TEL 03-3349-5113
受付時間：平日の午前9時から午後5時まで

★ 保険の詳細内容は、パンフレットを「全国公私病院連盟ホームページ (https://www.byo-ren.com/)」の「保険のご案内」に掲載しておりますのでご確認ください。右記のQRコードからのアクセスも可能です。



SJ24-05793 2024/08/07

第32回「医療事故防止セミナー」のお知らせ

全国公私病院連盟では、「医療事故や災害に備えて」をテーマに「医療事故防止セミナー」を開催します。ご参加ください。

- 期 日：令和6年 **11月28日** (木)
- 会 場：「全国都市会館」3階 第2会議室
東京都千代田区平河町 2-4-2
- 参加費：会員病院 (1名につき) 13,200円 (税込)
：会 員 外 (1名につき) 15,400円 (税込)
- 講演テーマと講師：

10:00 ～11:30 (90分)	「日本医療安全調査機構の取り組み」 講師 門 脇 孝 氏 一般社団法人 日本医療安全調査機構 理事長
昼食休憩	
12:30 ～13:20 (50分)	「医療安全管理室の役割と取り組み」 講師 田 中 真 咲 氏 神戸市立医療センター中央市民病院 看護部 副部長・医療安全管理室 副室長
13:30 ～14:20 (50分)	「院内医療事故調査とその公表のやり方」 講師 井 上 清 成 氏 井上法律事務所 弁護士
14:30 ～15:20 (50分)	「基幹災害拠点病院として経験した 令和6年能登半島地震一備え・対応・課題」 講師 岡 田 俊 英 氏 石川県立中央病院 院長
15:20～15:50 セミナー全体を通した質疑応答 (16:00 終了)	

- 参加の申込方法や注意事項などの詳細は、全国公私病院連盟のホームページ <https://www.byo-ren.com/> をご覧ください。
- お問合せ e-mail アドレス seminar@byo-ren.com
お問合せ電話番号 03-6284-7180